

11 月 07 日 : VN 指数は 4 日続伸後に反落

ベトナム株は 4 日続伸から一歩後退、強烈な利益確定圧力と米中貿易関係の不透明さが嫌気された。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.09% 下落し 1024.03 ポイントで取引を終えた。

VN 指数は直近 4 営業日で 2.61% 上昇していた。

同指数の上昇は 1000 ポイントを超えてから鈍くなってきている。

金曜日には 1.68% 上昇したが、水曜日は 0.06% の上昇幅だった。

相場の重荷になったのは、バオベトホールディングス (BVH)、ビンググループ (VIC)、ビナミルク (VNM)、サコムバンク (STB)、VP バンク (VPB)、ベティンバンク (CTG) などであった。

大型株は勢いを失った中で、中小型株も同様に利益確定の圧力を受けた。

中小型指数はそれぞれ 0.12% と 0.02% 下落した。

ポジティブな面で言うと、ベトコムバンク (VCB)、ビンコムリテール (VRE)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、マッサングループ (MSN)、ホアファットグループ (HPG) などが上昇し指数の下落を和らげた。

HPG は 3.2% 上昇、生産量が 12.5% 上昇し 218 万トンに達したと発表したことを受けてだった。

出来高は 1 億 9300 万株が取引され、売買代金にして 4.23 兆ドンであった。

水曜日の出来高 2 億 5500 万株、売買代金 4.7 兆ドンから下落した。

大型株を中心に強い利益確定圧力によって VN 指数はもみ合う展開になったと Thanh Cong 証券は語った。

しかし、わずかな下落にとどまったことが現在の水準で根固めするために必要な動きであったと同社は語った。

さらなる指数の上昇のための下値を固める動きだと同社は付け加えた。

短期的には、銀行、不動産などの大型株が VN 指数を 1045 ポイントに向かって牽引し続けると同社は予想した。

しかし、今後数日は VN 指数は 1025 ポイント付近で上下するだろう。米中貿易摩擦の進展に関する懸念があるためである。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.13% 上昇し 106.88 ポイントで取引を終えた。

同指数は 5 日続伸で 1.6% の上昇となった。

出来高は 2200 万株で、売買代金は 2878 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。